

シンポジウム・新しい東京 福祉・環境都市を目指して

共同
提言

「チェンジ・ザ・イシハラ」を發表します
—都政改革に新しい都市政策運動を—

2011年4月の都知事選まであと1年数ヶ月を残して、石原都政は「末期」を迎えています。7月の都議選での「石原与党」の後退、8月の衆院選と9月の政権交代、10月の2016年オリンピック招致「落選」という3つの打撃によって、しかし、オリンピック「再立候補」、都立小児3病院廃止問題、築地市場移転問題、新銀行東京問題など、“古い政治勢力”と“新しい都市政策”のせめぎあいの中で、都政のゆくえは混沌としています。

私たち研究者集団「新東京政策研究会」は、この1年間、東京という地域社会がかかえる都市問題を研究し、東京が今後めざすべき新しい都市政策の方向性について、雑誌『世界』2009年12月号に「共同提言 チェンジ・ザ・イシハラ」を發表しました。

本シンポジウムでは、この「共同提言」の内容を報告し、都政がいま抱えている喫緊の問題について討議し、教育・防災・環境・まちづくりといった東京がかかえる課題についても検討します。本シンポジウムを機にこれからは第二弾の東京政策づくりを目指します。是非本シンポジウムにご参加の上、ご意見・ご批判をいただければ幸いです。

都政改革に取り組んでいる市民運動や労働運動を担っている方、様々な分野の研究者の方をはじめ、多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

新東京政策研究会

(ご参加・ご協力いただいている方。敬称略アイウエオ順)

浅井春夫
安達智則
伊藤谷生
今松英悦
氏家祥夫
大泉幸二
尾崎正峰
桑原勇進
後藤道夫
進藤兵
醍醐 聡
高橋 紘一
寺西俊一
中山俊雄
福川裕一
源川真希
森山 治
世取山洋介
渡辺 治
(研究会代表)

会場案内図

